

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：荒瀬 美和

事業名	地域高規格道路 福井港丸岡インター連絡道路 主要地方道 丸岡川西線 I 期区間	事業区分	地方道	事業主体	福井県
起終点	自：福井県坂井市坂井町 至：福井県坂井市丸岡町	延長	3.6km		
事業概要					
<p>福井港丸岡インター連絡道路は、福井港を起点とし北陸自動車道丸岡ICに至る延長約20kmの地域高規格道路である。広域交流拠点である「福井港」および県下最大の工業団地である「テクノポート福井」と北陸自動車道丸岡ICとのアクセスを強化することにより、地域産業の活性化を図るとともに、国家石油備蓄基地が立地し災害時の活動拠点となる「福井港」と北陸自動車道との連絡を強化することにより、緊急物資輸送における生命線となるなど大きな効果が期待されている。</p>					
H26年度事業化		H25年度都市計画決定		H27年度用地着手	
H28年度工事着手					
全体事業費	約190億円	事業進捗率	約52%	供用済延長	— km
計画交通量	11,400台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 109/169億円 事業費：106/165億円 維持管理費：3.5/3.5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 208/208億円 走行時間短縮便益：182/182億円 走行経費減少便益：21/21億円 交通事故減少便益：5.1/5.1億円	基準年	令和3年
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.4 (交通量±10%)		(残事業) 交通量：B/C=1.7~2.1 (交通量±10%)			
事業費：B/C=1.2~1.3 (事業費±10%)		事業費：B/C=1.7~2.1 (事業費±10%)			
事業期間：B/C=1.1~1.3 (事業期間±20%)		事業期間：B/C=1.7~2.1 (事業期間±20%)			
事業の効果等					
<p>① 交通の円滑化とアクセス向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井港及びテクノポート福井と北陸自動車道丸岡ICとのアクセス向上による地域産業の発展に寄与 <p>② 地域防災の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次緊急輸送道路としての緊急支援物資の円滑な輸送を支援 <p>③ 交通渋滞の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道部に主要渋滞箇所が存在し、当該道路の整備により現道交通が転換され、渋滞が緩和 <p>④ 交通事故の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通過交通の排除や流入交通の分散により、これらの交通に起因する交通事故が減少 <p>⑤ 観光ネットワークの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東尋坊など県下有数の観光地へのアクセス向上により、地域観光の利便性向上に寄与 					
関係する地方公共団体等の意見					
<ul style="list-style-type: none"> ・地元坂井市から早期整備の要望を受けている。 ・福井港・丸岡インター連絡道路整備促進協議会から早期整備の要望を受けている。 					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地進捗率約96%、事業進捗率約52%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
今後、残る用地取得と工事を推進し、早期の開通実現につなげていく。					
施設の構造や工法の変更等					
今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。					

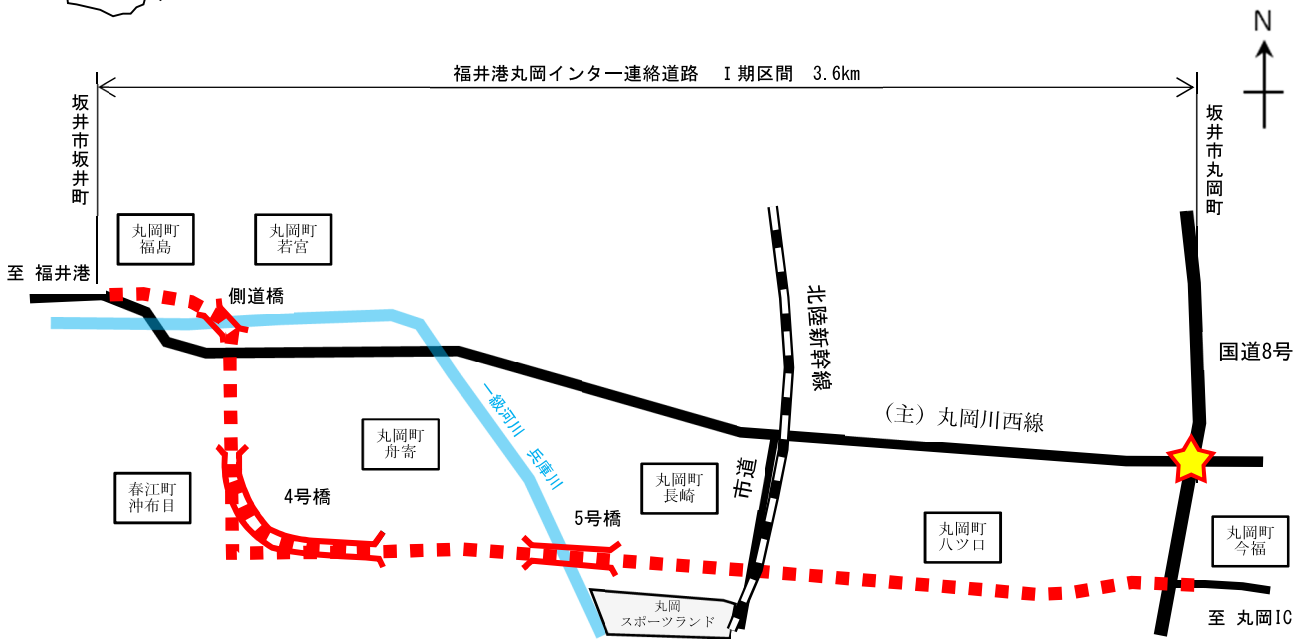
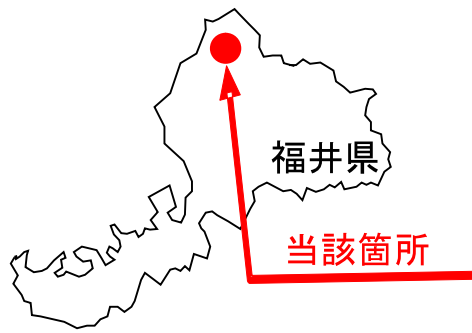
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



凡例 (現道課題)	
★	主要渋滞箇所

凡例	
開通済	——
事業中	----

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。